

小学生が小川の生態観察

白川小奥地区で「小川と仲良くなろう」

8月4日、白川小奥地区で、小川の生き物などを観察する「小川と仲良くなろう」が開催されました。この催しは、夏休みの小学生を対象に自然や環境の大切さを学んでもらおうと、小奥環境資源保全隊が毎年開催しているもの。

参加した子どもたち10人は、川の水温や流れの速さを測った後、網を持って小川に入り、川の底からいろいろな生き物を捕まえました。見つかったのは、ザリガニやトンボの幼虫のほか、きれいな水の中にしか生息しないサワガニや魚のハヤ、ホタルの幼虫のエサになるカワナなど約13種類。子どもたちは「近くの川にいろいろな生き物がいることが分かりました。ゴミなどで汚れないようにきれいな川を守っていきたいです」と話してくれました。このあと、子どもたちは昔ながらの機械を使ったカキ氷作りや、スイカ割りをしながら、楽しい1日を過ごしました。



1_見つけたザリガニを披露！ 2_小川に入って夢中で生き物を探す子どもたち 3_これは何の魚かな？ 採れた生き物に興味津々！

絵本作家と遊ぶ

こじゅうろうキッズランド1周年

8月17日と18日、こじゅうろうキッズランドオープン1周年を記念して、絵本作家の飯野和好さんによるイベントが開催されました。17日は、絵本に登場する「あさたろう」になってチャンバラを楽しむワークショップと絵本の読み語りライブを開催。18日は、おもしろいし市場の軽食スペースと、キッズランドの階段に絵本のキャラクターなどを描くライブペインティングが披露されました。次々と軽妙なタッチで壁面に描かれていくキャラクターに、子どもたちは興味津々。おもしろいし市場には「しろいしの野菜だ えっさかほい」、キッズランドには「ねぎぼうずのあさたろうの旅日記」と題した絵が描かれました。

また、18日は館内で縁日も開催。射的や輪投げ、水ヨーヨー釣り、スーパーボールすくいのほか、紙皿回しや牛乳パックとんぼ作りを楽しむ多くの家族連れで賑わいました。



1_おもしろいし市場でライブペインティングを披露する飯野さん 2_どれにしようかな？ 縁日コーナーも大盛況！ 3_手作りした三度笠と刀を身につけ、「あさたろう」になって飯野さんと記念撮影する子どもたち

瓦職人がボランティア

白石城でドローンによる屋根瓦点検

8月8日、「屋根の日」と定められたこの日白石城で、宮城県瓦工事業組合がドローンを使用した屋根瓦の点検と周辺公園内の清掃活動を行いました。この取り組みは、(一社)全日本瓦工事業連盟青年部が全国一斉にボランティア活動を行っているもの。ドローンによる点検は、高所での危険作業を伴わず、短時間で効率的に行えるのが特徴で、撮影した映像をモニターで確認しながら点検が進められました。点検結果は映像を分析後、本市へ報告される予定です。



▲遠隔操作で屋根瓦の状況を撮影するドローン

短冊に願いを込めて

武家屋敷催事「七夕まつり」

8月2日から8日まで、武家屋敷で笹の葉に短冊などを飾り付ける「七夕まつり」が行われました。伝統行事の七夕を広く伝えようと開催されたこの行事に2日、市内の児童館に通う児童約25人が訪れ、「野球選手になりたい」「家族が健康に過ごせますように」など、思いの願いごとを書いた短冊や飾りを笹の葉に付けていきました。

また、武家屋敷ではかき氷が振る舞われ、児童たちは夏のひとときを堪能していました。



▲笹の葉に飾り付ける児童たち

野球を通して親睦を深めました

海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会

8月17日、姉妹都市である神奈川県海老名市と本市の少年野球チームが、白石川緑地野球場で交流大会を行いました。両市の親善やスポーツ交流を目的に行われたこの大会には、海老名市と本市の小学生約30人が交流試合に参加。子どもたちのはつらつとしたプレーに、応援に駆けつけた家族から歓声が飛びました。

また、海老名市の子どもたちは、本市の子どもたちの家庭にホームステイするなどして、両市間の交流を深めました。



▲試合後に握手をする両市野球チームの選手